

# 第1章 教育

## 教育プロジェクト①

### E-スクエア・プロジェクト

文部科学省および経済産業省は、学校教育におけるインターネットの可能性、有効性を実証するための先駆的な実践プロジェクトを推進してきた。1994年度から1996年度までは「100校プロジェクト」、続く1997年度から1998年度までは「新100校プロジェクト」として、全国約100か所程度の学校へのインターネット接続を実施した。1999年度から2001年度までは、「Eスクエア・プロジェクト」を継承プロジェクトとして、100校に限定せずに、広くすべての学校を対象とする共同学習支援を実施する。

「Eスクエア・プロジェクト」は、前身の100校・新100校の時代には実験色が強かったが、現在は文教施策との連動性を強めている。「メディアキッズ」および「こねっと・プラン」などの民間主導のプロジェクトが試行錯誤して得た実践成果の優れた部分を取り入れながら、すべての学校におけるインターネット活用教育をスムーズに行うための側面支援的な活動を推進している。

### 教育実践プロジェクトの転機

2001年は、教育実践プロジェクトの転機の年となった。長く全国規模で教育実践をサポートし、学校教育におけるインターネット活用の可能性を切り開いてきた先駆的なプロジェクトである「メディアキッズ」および「こねっと・プラン」が役割を終えることになった。いずれも民間による資金的支援をベースとし、学校でのインターネット活用にかかわるさまざまな試験的試みを推進してきたが、2001年3月末をもって母体の組織である企業コンソーシアムを解散し、事務局による運営サポートを停止した。両プロジェクトともに完全に停止したわけではないが、時を

## 転機を迎えた民間主導の先駆的教育プロジェクト その成果は国の文教施策に吸収されて次世代へ

同じくして、活動が大幅に縮小されることになった。

このことは、インターネット活用にかかわる教育実践プロジェクトに期待される社会的役割が大きく変わったことを示唆している。学校でのインターネットの活用は、数年前まではなにもかもが実験的な試みであったが、いまや国の文教施策として実施される運びとなった。先駆的な民間主導ないしボランティア的な実践プロジェクトは、その成果が国の施策の中に取り入れられ、時代の役割を終えようとしている。

従来の教科の枠組みを超えた実践的教育プロジェクトは、次世代の教育のあり方を探る試行錯誤であり、未来の学習のスタイルを創り出すパワーである。たとえ「メディアキッズ」や「こねっと・プラン」が事実上の終焉を迎えたとしても、次の世代を切り開く実験的な試みは絶えることなく続くであろう。

#### ■「メディアキッズ」の足跡

「メディアキッズ」(MediaKids)は、1994年にアップルコンピュータと国際大学グローバル・コミュニケーション・センターが共同で主催する共同学習プロジェクトとしてスタートした。子どもたちがネットワークに「なれ親しむ」ことを目的とした「こんにちは」プロジェクトや、共同学習「わいわい」プロジェクトなどを通じて、子どもたち自身による学校でのインターネット活用の可能性を切り開き、教育におけるオンラインコミュニティの有効性を世に先駆けて示してきた。

#### ■「こねっと・プラン」の足跡

「こねっと・プラン」は、日本全国の約1000校の学校に対して、インターネットのダイヤルアップ接続サービスを提供することに重点をおいて1996年にスタートした。やがて各種セミナーの実施、

共同学習の支援などを活発に行うようになり、「こねっとGoo」と呼ばれる検索システムや、「こねっと・ワールド」というホームページにおける教科別の豊富な教育コンテンツの提供などを通じて、すべての学校でインターネットを活用することになる時代を見越したサービスの開拓に寄与してきた。

### 学校と家庭との間の コミュニケーション

学校教育は地域に密着した活動であるゆえに、学校を核とした地域に根ざしたインターネット活用実践は、以前からその有効性が指摘されていた。最近では、パソコンだけでなくゲーム機や携帯電話などを活用した実践が注目され、学校と家庭との間のコミュニケーションにおける質的变化を予見させている。

2000年4月より実験を開始した「スクールネット・エクスペリメンタル」は、参加校10校の全家庭にインターネットに接続可能な家庭用ゲーム機を配付して、IT技術による学校と家庭との間の新しいコミュニケーションのありかたを探っている。また、学校から保護者の携帯端末あてにメールマガジンを発行する「富小ネット」などの意欲的なトライアルが成果を上げて注目されている。

(新谷 隆 国際大学GLOCOM)

[www.edu.ipa.go.jp/E-square/](http://www.edu.ipa.go.jp/E-square/)  
[www.mediakids.or.jp](http://www.mediakids.or.jp)  
[www.wnn.or.jp/konet](http://www.wnn.or.jp/konet)  
[www.japan-school.net](http://www.japan-school.net)  
[www.tomisho.net](http://www.tomisho.net)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)